

# 衆議院財務金融委員会ニュース

H27.9.2 第189回国会第14号

9月2日(水)、第14回の委員会が開かれました。

## 1 財政及び金融に関する件(国際開発金融機関等)

・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

(参考人) 株式会社大和総研主席研究員・経済調査部担当部長  
平和外交研究所代表

齋藤 尚 登君  
美根 慶 樹君

(質疑者及び主な質疑内容)

### 津島 淳君(自民)

- ・途上国のインフラ支援の在り方について両参考人に伺いたい。また、アジアインフラ投資銀行(AIIB)の投融資において、中国企業の受注獲得が優先される懸念がある上、中国企業の海外展開において現地雇用が生まれない傾向があることについてどう思うか。
- ・BRICSが設立した新開発銀行(以下「BRICS銀行」という。)とAIIBとの違いについて美根参考人に伺いたい。
- ・我が国がAIIBに参加することでAIIBを内側から改革することは可能なか。また、そのことが中国に与える影響について齋藤参考人に伺いたい。

### 古川 元久君(民主)

- ・既にAIIBの枠組みが決まっている中で、これから我が国が参加しても改革する余地はあるのか、齋藤参考人に伺いたい。
- ・我が国がAIIBに参加せずに、アジア開発銀行(ADB)などを活用して外部から積極的にコミットするほうが効果的だと考えるが、両参考人の見解を伺いたい。
- ・中国経済の減速とAIIBの今後の動向の関係について両参考人に伺いたい。

### 丸山 穂高君(維新)

- ・アジアのインフラ需要への対応等について、既存の国際開発金融機関が抱える課題の解決に向けて我が国がどのように取り組むべきか美根参考人の見解を伺いたい。
- ・AIIBの設立過程において、中国がBRICS銀行

の設立交渉での反省を踏まえどのように対応したのか美根参考人の見解を伺いたい。

- ・我が国や米国のAIIB参加見送りについて、中国はどう捉えているのか、齋藤参考人に伺いたい。

### 伊藤 涉君(公明)

- ・指南役として我が国がAIIBの内部に入った場合に、具体的にどのような行動をとるべきか齋藤参考人に伺いたい。
- ・AIIBに参加した欧州諸国の対応の背景及び我が国の取るべき方向について両参考人の見解を伺いたい。
- ・中国の株式市場の安定化に必要な取組について齋藤参考人に伺いたい。

### 宮本 徹君(共産)

- ・国際通貨基金(IMF)や世界銀行は米国だけが重要事項決定の拒否権を持ち、米国の抵抗で改革は進んでいない。AIIBは中国だけが拒否権を持つこととなるが、一国だけが拒否権を持つというのは公平で、民主的な機関と言えるのか。国際開発金融機関には公正で、民主的な機関としての改革が求められるのではないか。両参考人に伺いたい。
- ・齋藤参考人は、日本がAIIBに参加した場合は中国だけが拒否権を持つという状況を解消できるのではないかとするが、日本が参加するに当たって中国が拒否権を維持できる基準に変更する懸念はないか。また、日本が参加した場合、理事や総務会のポストはどのように考えていくか齋藤参考人に伺いたい。
- ・アジア経済の発展と日本の国益のためには中国と平和的關係を保っていく必要があると考えるが両参考人はどのように考えるか。